

地域別アクションプログラム(東近江土木事務所)

地域ワーキング提言

本地域ワーキングでは、アクションプログラムの見直しにあたり、地域の課題や重点的に整備すべき項目等について平成24年8月から3回にわたって議論してきた。この地域ワーキングでの議論をふまえ、今後、真に必要な道路整備が無駄なく着実に推進されることを願い、以下に示す事項を地域ワーキングからの提言とする。

1. 交通渋滞を緩和し交通の円滑化を図る道路整備の推進

慢性化している交通渋滞を緩和するために、交差点や現道の交通容量の向上、道路ネットワーク機能の強化等、各道路管理者の連携のもと、渋滞対策の積極的な実施が求められる。

2. 安全で安心して移動できる道づくり

通学路の安全確保を積極的に進め、子どもから高齢者まで安全で安心して移動できる連続した歩道の設置に向けた取り組みが必要である。

3. 地域の活性化に資する災害に強い道路網の構築

地域活性化に結びつく道路整備を進めながら、異常気象や災害時等において、一部の道路が寸断しても代替ルートを確保できるような、広域的な道路網の構築が今後重要である。

4. 地域の意見を活かした道づくり

地域ワーキングで議論してきた内容の早期実現に向け、道路管理者、関係者、地域の連携のもと、地域の意見を活かした道づくりの推進が望まれる。

地域別アクションプログラム(東近江土木事務所)地域ワーキング